

# 平成27年度第1回 府中市総合教育会議 議事録

1 日時 平成27年5月25日（月） 開会午後3時30分、閉会午後4時15分

2 場所 府中市教育センター 会議室

3 出席者

（構成員） 戸成市長 田中教育委員長 井上教育委員 骨田教育委員 平谷教育長  
※欠席構成員 神田教育委員

（事務局） 石川総務部長、大和人事秘書課長、大森人事秘書課長補佐  
栗根教育部長 河本総務課長 竹内学校教育課長 谷口生涯学習課長  
横山総務課主幹 門田学校教育課主幹 山田総務課庶務係長

4 協議内容

(1) 府中市総合教育会議の運営について

会議の運営方法について協議するので、非公開

別紙「府中市総合教育会議設置要綱」及び「府中市総合教委育会議取扱要領」  
を事務局が説明 構成員全員意見なしで承認

(2) 府中市教育大綱（仮称）の策定について

事務局から大綱策定の概要説明（別紙資料）

○策定時期 平成27年11月

○名称 サブタイトル・キャッチフレーズ

○内容 ◆府中市教育推進計画◆府中学びプラン（平成25年度～34年度の10年間）の柱を基に作成

【市長】ただいまの説明にありましたが、1点目として、教育大綱の策定時期は平成27年11月でよろしいでしょうか

【教育委員】異議なし

【市長】2点目の対象期間は、国が示している大綱の期間及び新制度の教育長の任期が3年なので、3年間で妥当かと思うがいかがでしょうか

【教育委員】異議なし

【市長】続いて名称ですが、内容を協議していく中でキャッチフレーズが浮かび上がってくるかと思うので、内容協議に入ります

その前に、教育長から現在の府中市教育の現状について、説明をお願いします

【平谷教育長】別紙のとおり

【市長】ただいま平谷教育長から府中市の現状を説明いただきましたので、教育委員さんの意見もお聞かせいただきたい まず田中委員長いかがでしょうか

【田中委員長】事務局説明の柱には学びプランは網羅されている（大綱の）キーワード・ポイントを考えたとき、私は去年から指定しているコミュニティ・スクールがスタートしているので、国からの考えでもあるが、地域と一体ということで十分活用して、子どもの教育、家庭教育の推進啓発、さらには今推進している「親プロ」、一人ひとりが地域で体験し学ぶことが生涯学習、一生学ぶことにつながるので、コミュニティ・スクールをきっちり活用し、制度的に進めていくことが大切だと思う

昨年あたりから県からも言われている「グローバル教育」は、コミュニティ・

スクールで地元を知り、その上で世界をみていく、そのことで子どもが親も含めて向上していければと思っています

**【井上委員】** 今、委員長も言われたコミュニティ・スクールは非常に頑張っておられる印象がある。特に私自身もだが、核家族化は府中市だけの問題でなく大きな問題である。そこからくる年寄と若い者の世代間のコミュニケーションの場が欠けてきている。（教育関係者ではない）私が（平成24年12月に教育）委員に選ばれたことの意義は、今までとは違ったことへの挑戦かなと思ったが、色々勉強させてもらううちに、まだまだ頑張っていく出番が必要だと感じた。学校訪問の時に感じたのは、比較的女性の先生の方が頑張っておられる。男性のパワーも必要だし、これから若い先生が増えていき新旧交代の時期が来るので、優秀な前向きに頑張っていける先生を確保する事も大事。先生同士で悩みが相談できないと「うつ病」になったりする。仕事も大変だろうから何か手助けできるような、ベテランと若手でコミュニケーションが図れるようなことができるような学校の体制が必要。

いずれにしても「知徳体」と言われるが私は「体徳知」だと思っている。体力づくり、もちろん食育も関連はある。運動会は工夫して取組んでいる。知の方は先ほどの（教育長の）説明でレベルアップしているのはわかったので、（体力づくりに）なお取組んでいければよい。そのことが、コミュニティ・スクールの状況にも発展していくんじゃないかと思います。

**【骨田委員】** 私の立場でいうと母親目線が強くなるのだが、学校現場と家庭の連携が昔より薄くなってきているような気がする。会議ですとかそういうところで話し合いをするより、現場で実際に気持ちをあわせていく事が大事だと思う。社会的に発達障害が認知されてきて大きな課題になってきている。府中市においても発達障害を抱える子どもの事案も見聞きしている。子どもだけの問題でなく、すでに大人になっている人もいるが、今の世の中、人の気持ちを思いやるゆとりが少なくなっている。子どもの時代からコミュニティ・スクールの活動をしっかり利用して、地域の中にはいって行って、人の気持ちを読み取る力をつける意味でもコミュニティ・スクールを推進していきたい。大人になっても周りに配慮しながら、自分の物差しだけでなく、他人を配慮しながら自分も主張できる教育ができれば良いと私は考えています。

**【市長】** ありがとうございます。私は地域と一体となって進めるコミュニティ・スクール。あるいは英語教育を推進するグローバル教育は重点だろうと思っている。また、11年目になる小中一貫教育の中で、先ほど井上委員が言われた「知徳体」の教育を更に進めていく必要がある。学校の先生は教育のプロであるが人生のプロではないと思っているので、これからコミュニティ・スクールを推進することによって、人生のプロと交流することが必要であろう。道徳教育をしっかりとやってもらって人に迷惑をかけない人間の形成が非常に大事だと思っている。こういう意見をもっている。みなさんの意見を参考にして、教育大綱を作成したい。次回の会議に大綱案をご提案し協議いたします。

次回2回目の会議は、9月下旬に開催し大綱の協議、平成28年度の教育行政の重要施策の予算等について協議し、更に第3回目を11月下旬に、大綱を決定し公表する予定でございますがいかがでしょうか。

**【教育委員】** 異議なし

**【市長】** その他、何かありましたら発言をお願いします。

ないようですので、以上をもちまして平成27年度第1回総合教育会議を終了します。